

家ぞくが 大すき

あなたの ことを せかい^{じゅう}中で
いちばん^{いちばん} だい^{だい}に おも^{おも}って くれて いるんだね。



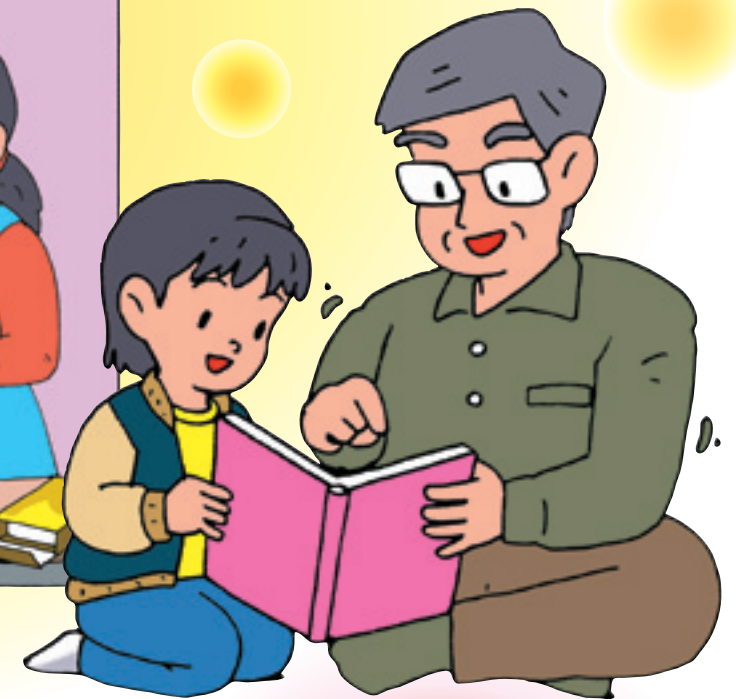
か
家ぞくって
いいなと おも^{おも}うのは
どんな ときかな。



か
家ぞくって いいね

か
家ぞくの ねがいを 書いて もらおう

・ こんな ひと^{ひと}に そだって ほしい ・



あなたの ために なることを いっ^{いっ}しょう^{しょう}けんめい
かんが^{かんが}えて くれて いるんだね。

だい 大じな だい 大すきな か 家ぞくだもん。
やくに た 立てると いい気分。

お父さんが 帰ってきた。
とても つかれた 顔を
していたので、ぼくが、
「かた、たたいて あげようか。」
と言うと、にこっと わらった。
ぼくも、うれしく なった。

はじめて おるす番を しました。
わたしは、弟が ないてしまったら
どうしようと 思いました。
でも、お母さんには、
「いってらっしゃい。」
と、にこにこして 言いました。



すすんで 家の 手つだい などをして 家ぞくの
やくに た 立てた ときの ことを 記ろくして おこう。

1年

2年